

どうする IRUD (未診断疾患イニシアチブ) ?

講師

大阪公立大学医学部附属病院
ゲノム医療センター

病院教授 **瀬戸 俊之 先生**



日時

令和 5 年 4 月 20 日 (木)

17 : 45 ~ 19 : 00

申込み

参加費：無料

定員：500 名

申込締め切り：**4 月 13 日 (木)**

申込方法：URL または QR コードから申込フォームに
アクセスし、必要事項をご入力ください。

URL：<https://forms.gle/UuPqXBt6Cnncszkf7>



※返信メールをお送りしますので、受講終了時までやり取りが可能な
PC アドレスでお申し込み下さい

※お申し込みは先着順とし、定員超過の場合は調整させていただく場合があります

※ご入力いただいた個人情報は本講座のみに使用します

★講座の視聴に際し、録音・録画等をご遠慮ください

お問い合わせ先

社会福祉法人愛徳福祉会大阪発達総合療育センター

問い合わせ担当：公開講座係 aitoku@osaka-drc.jp

講師プロフィール

瀬戸 俊之 氏



専門：遺伝性疾患全般、先天代謝異常症、
小児脳神経内科疾患、遺伝カウンセリング

主な経歴

- 1993年 大阪市立大学医学部医学科卒業、同附属病院臨床研修医
- 1999年 大阪市立大学大学院医学研究科内科系小児科学修了（医学博士）
- 2002年 米国カリフォルニア大学ロスアンゼルス校研究員（ムコ多糖症に関する研究）
- 2008年 市立柏原病院小児科部長
- 2011年 大阪市立大学大学院医学研究科発達小児医学 講師
- 2018年 同 准教授
- 2019年 同 臨床遺伝学 准教授、医学部附属病院ゲノム医療センター副センター長
- 2020年 大阪市立大学医学部附属病院ゲノム診療科 副部長
- 2022年 大阪公立大学医学部附属病院ゲノム医療センター 病院教授

「ヒトはなぜ病気になるのか、病気をもって生まれてくるのか?」、「病気や「障がい」をもっている子どもは何も悪いことをしているわけでもないのに、痛い思いをしたり、小さいときからまわりのお友達と同じように遊ぶことができない。ならば、そもそもヒトにはなぜそのような不公平があるのだろうか」

当時から、その問いを考えるのに最もふさわしい領域は「遺伝医学」だと思っていましたが、私が大学を卒業する30年近く前はそのような診療科はありませんでした。

一番近いものとして小児科を考え、小児科医の道を志すことになり今に至った次第です。

実際に小児科医になってから日々、多くのことを患者さんやご両親から学んでいます。

数年前からゲノム診療科の所属に代わり、遺伝性疾患を有する成人も診療させていただいています。出生前診断、神経難病の発症前診断、がんゲノム医療からの相談など来談者の様々な葛藤を傾聴する機会が増えています。

このようなことに向き合うことは、まさに病気や障がいと社会のかかわりを考えることでもあると実感しています。